

装束の油引き解き江戸時代17世紀

女子美染織コレクションPART7

日本の伝統と技

二〇一八年

九月十二日(水)から

十月二〇日(土)まで

—入館料—無料

—開館時間—10時〜17時

(入館は16時30分まで)

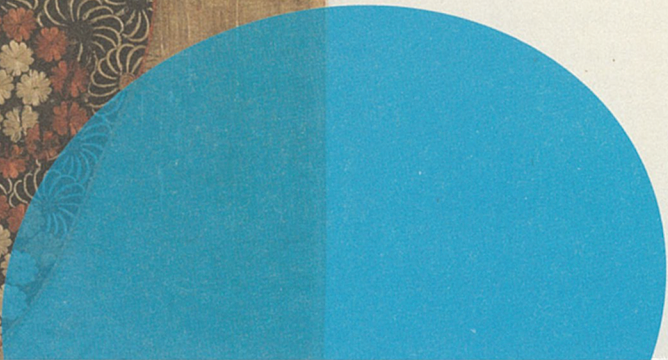
—休館日—日曜、祝日休館

主催 女子美術大学美術館 後援 相模原市、相模原市教育委員会
協力 女子美術大学 済美文化資源研究会 女子美術大学女子工芸部 女子美術大学芸術部



女子美アートミュージアム

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900
女子美術大学相模原キャンパス10号館1階
Tel.042-778-6801 Fax.042-778-6815
E-mail : museum@venus.joshibi.jp
URL : http://www.joshibi.net/museum/



女子美アートミュージアムでは「女子美染織コレクション展 Part7 日本の伝統と技」を開催します。第7回となる本展は、江戸時代を中心とした日本の「裂(きれ)」をご紹介します。日本の衣服は染・織・刺繍の技法が駆使され、多くの女性たちを引き立てました。これらは形を失い、小さな断片「裂」となった今も豊かな魅力を湛えています。当館は裂を約660点収蔵しており、本展では研究と修復の視座からコレクションをご堪能いただけます。第一章では、染と刺繍を中心とした裂を技法ごとに紹介します。大胆で緻密なデザインとともに女性の羨望の的になった友禅染や絞り染、綿密な作業で自由に模様を表現する刺繍など、当時の伝統と技に支えられたオリジナル・ピースをご鑑賞ください。第二章では、女子美術大学染織文化資源研究所の活動をご紹介します。当研究所は、文部科学省の「私立大学研究ブランディング事業」に基づいて、2016年より設立された染織資料を中心とする研究機関です。デザイン・工芸学科工芸専攻刺繍領域で培われた蓄積を礎とする当研究所の活動と成果をご高覧ください。



梅鶯文字模様裂 江戸時代 18世紀



霞に撫子と朝顔模様裂 桃山時代 17世紀



松竹梅海老模様裂 江戸時代 19世紀

●関連イベント● (都合により内容、時間などが変更になる場合があります。ご了承ください。)

◎ワークショップ1 JAM刺繍体験教室

講師：藤田千鶴(刺繍作家)

日時：9月29日(土) 13:00~16:00

対象：小学生~高校生(小学生低学年の方は保護者の方の付き添いをお願いします。)

参加費：500円

定員：10名

内容：手のひらサイズのオリジナルポーチを、おこさまにもやさしい刺しゅう技法を学びながら制作します。箔置き体験も行い、日本の伝統技術を楽しく学びます。

◎ワークショップ2 型染体験 テーブルセンターを染めよう

講師：長沢碧(染色作家)

日時：10月13日(土) 13:30~15:00

対象：小学生以上(小学生低学年の方は保護者の方の付き添いをお願いします。)

参加費：500円

定員：15名

内容：糊置きされた布に刷毛で色を差していきます。
型紙を用いて糊(お米の粉を蒸したものを)を置き、乾燥させた布に、刷毛で自由に顔色を差し彩色していきます。型染の表現とその特徴を学びます。

◎ギャラリートーク 担当学芸員が作品の解説を行います。

日時：9月26日(水) 15:00~ 30分程度 申込不要

ワークショップの申込は8月27日以降に、E-mail・電話のいずれかの方法でお申し込みください。

定員になり次第、締切といたします。

※申し込み必要事項：①イベント名、②氏名、③電話番号、④参加人数、⑤年齢

◎お申込・お問い合わせ 女子美アートミュージアム

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台 1900 女子美術大学 相模原キャンパス

Tel: 042-778-6801 Fax: 042-778-6815

E-mail: museum@venus.joshibi.jp URL: <http://www.joshibi.net/museum/>

交通案内

①小田急線相模大野駅北口 3番バス乗場「女子美術大学」行き 乗車約 20分

※平日・土曜日の午前10時前は伊勢丹デパート横グリーンホール前4番バス乗場より乗車

②JR横浜線古淵駅 2番バス乗場「女子美術大学」行き 乗車約 15分

◎車でご来場の方は隣接する市立相模原麻溝公園内の各駐車場をご利用ください

